

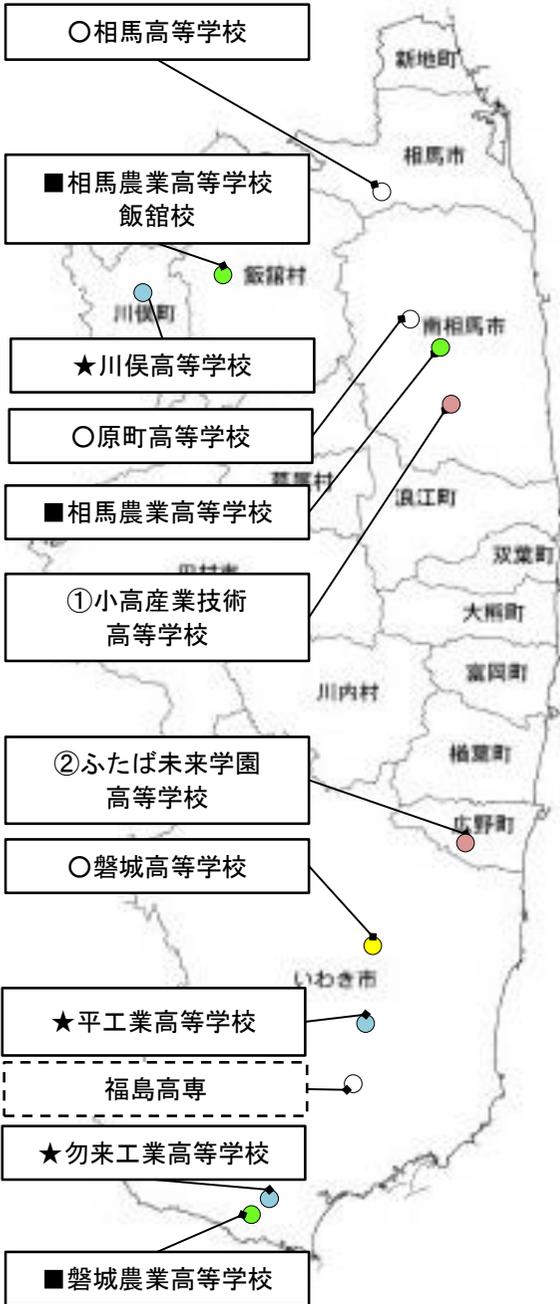
ふくしまイノベーション人材育成調査事業

H29予算額(6月補正で計上) 30,000千円

○改正福島復興再生特別措置法（平成29年2月10日閣議決定）において、福島イノベーション・コースト構想（福島国際研究産業都市）の推進について法定化され、国家プロジェクトとして強力に推進されることとなった。

○若い世代の避難継続や、それに伴う高齢化による労働力不足が深刻化する中で、福島イノベーション・コースト構想を着実に実現するためには、「教育・人材育成」が鍵となる。

→ 本構想の実現に寄与する人材を育成するために、構想の中心となる浜通り地域等の高等学校の特色を活かした新たな教育プログラムの開発が必要である。



既存の教育プログラム

① スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）※
イノベーション・コースト構想に寄与する人材を育成する小高産業技術高等学校ならではの特色ある教育

② スーパーグローバルハイスクール（SGH）※
双葉郡の教育復興のシンボルであるふたば未来学園高等学校での先進的な教育実践

※ 文部科学省事業

浜通り等が一体となって人材の育成を進めるために

既存の取組に加え、浜通り等の高等学校の特色を活かし構想の推進を担う人材育成を目的とした新たな教育プログラムの可能性を調査し、プログラムの開発に繋げる。

3つの柱

- 本構想の核となるトップリーダーの育成（相馬高校、原町高校、磐城高校）
高い能力を有した研究者や、起業家、経営者、行政官など、構想を統括・牽引する人材の育成
- ★ 工業分野の人材育成（川俣高校、平工業高校、勿来工業高校）
ロボット産業、エネルギー産業、医療機器など、専門的な工業人材の育成
- 農業分野の人材育成（相馬農業高校、相馬農業高校飯舘校、磐城農業高校）
植物工場、バイオマス、農業への先端技術の導入など、農業イノベーション・プロジェクトを支える人材の育成